



校長室だより

令和6年度 竜北東小学校 第9号

文責 校長 服部 正

学校ホームページQRコード → →

【随時更新予中！是非ご覧下さい！】



【学校教育目標】

「ひ（人にやさしく）・が（がまん強く）・し（しっかり勉強）！一人ひとりが輝く 竜東っ子」～ ふるさとを愛し、夢に向かってよりよく生きる 児童の育成～

1年間の成長をふり返る ～学校教育目標の具現化を検証(県学力・学習状況調査、学校評価アンケート等から)～

本年度の学校教育目標「ひ（人にやさしく）・が（がまん強く）・し（しっかり勉強）！一人ひとりが輝く 竜東っ子 ～ふるさとを愛し、夢に向かってよりよく生きる児童の育成～」について、熊本県学力・学習状況調査や児童・保護者・学校運営協議会の皆さんにご協力いただいた学校評価アンケート等の結果をもとに、ふり返りを行いました。

校訓や学校教育目標に掲げる「知（確かな学力）・徳（豊かな人間性）・体（健康・体力）」に基づき考察してみると、以下のような結果となり、全ての学年で一定の成果が見られました。しかし、その一方で、改善すべき課題も明らかになりました。今後の取組の方向性を検討し、次年度の教育活動に活かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

「確かな学力」の育成

＜教科の状況＞

- ・国語…2つの学年が全国平均を上回る
1つの学年が全国平均と同程度
- ・算数…3つの学年が全国平均を上回る
1つの学年が全国平均と同程度
- ・授業の内容がよく分かる
…国、算ともに全国平均を上回る

＜学習の状況 ※全国平均を上回るものの例＞

【児童の評価】

- ・授業で意見を積極的に発表している
- ・「クラスの人のふざけやおしゃべりで、授業に集中できないことはない」
- ・「家庭学習に週4～5日以上取り組む」

※＜学校評価アンケートから＞

【保護者の評価】

- ・「わかる授業が行われている」…98.5%

＜今後の取組＞

- ・家庭学習の質の向上、どのような目的で何に取り組むか中身を充実させる
- ・発達段階に応じた「聞く力」や「話す力」

「豊かな人間性」の育成

＜児童が主体となった活躍の場づくり＞

【児童の評価】

- ・「学校行事にしっかり取り組む」…95.2%
- ・「友達と活動するのが楽しい」…95.2%

【保護者の評価】

- ・「学校行事が充実している」…98.0%
- ・「特色ある教育活動がされている」…99.0%

＜自他を大切にする心の育成＞

【児童の評価】

- ・「学校が楽しい」…94.3%
- ・「友だちを大切にしている」…99.0%
- ・「気持ちのよいあいさつをしている」…88.6%

【保護者の評価】

- ・「いじめや不登校のない学校づくり」…95.0%
- ・「自分や友だちを大切にしている」…96.0%
- ・「楽しく明るい学校生活を送っている」…97.0%

＜今後の取組＞

- ・児童会活動を中心に、児童が主体（計画→実行→評価）となった自治活動を推進し、互いを尊重する仲間づくり（風土）を推進する。

「健康・体力」の育成

＜う歯治療率＞

- ・約9割の児童が「う歯治療済み」。

＜今後の取組＞

- ・自分の体を大切にすることが、自分の人生を大切に生きることにつながる。また自分と同じように、友だちや家族を大切に生きていく姿勢を育むことにつながることを継続して啓発していく。

＜メディア利用による生活習慣への影響＞

- ・メディアの長時間利用が原因で、就寝時刻が遅くなったり、自分で起床できない児童が高学年になるにつれ増加している。
- ・基本的な生活習慣の乱れによる心身の不調、「欠席」「登校渋り」の児童が見られた。

＜今後の取組＞

- ・基本的な生活習慣の有無が、児童のバランスの取れた健全育成に大きく影響することを啓発する。
- ・また、家庭でのメディア利用ルールづくりを促し、親子の時間の充実を促す。

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る文部科学大臣表彰」

～CSの日「オータム交電会」が評価～

この度、竜北中学校区の3つの学校運営協議会（東小CS、西部小CS、竜北中CS）と氷川町地域学校協働本部が、「令和6年度コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る文部科学大臣表彰」を受賞いたしました。

受賞理由は、CS（学校運営協議会）委員が主体となった「CSの日（オータム交電会）」の取組が、中学生は自己有用感を高め、小学生はふるさとに対する興味関心を広げる貴重な機会となっていること。また、学校と地域の連携を深めるとともに小中の連携が、児童生徒の成長する姿を通じて更に深まっていること。そして、児童生徒が主体的に地域について学びを深め、貢献しようとする意欲を高めていることです。このような教育活動は、決して単独の学校だけでできるものではありません。子どもを中心に、保護者、地域、行政の皆さんの支援があつてのものです。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



「CSの日（オータム交電会）」での「はじまりの式」の様子

卒業を前に、6年生の姿に学ぶ

～日頃の姿と継続の大切さ（凡事徹底）～



6年生の卒業式の練習の様子

先週末から、本格的な卒業式の練習が始まりました。6年生の練習では、壇上での卒業証書授与の所作、祝辞等のあいさつ時の礼や立ち方、呼びかけ時の声の出し方や話し方など、初めてのことにとまどいながらも、一生懸命頑張る6年生の姿がありました。最上級生として日頃から真面目な態度で学校を牽引してきた6年生。ここでも「さすが！」と感じたところです。

さて、令和6年度も、あと残すところわずかとなりました。本年度の学校教育目標において、重点的に育成をめざす資質・能力の一つに、「継続する力」があります（※ひ・が・しの「が」）。

例として、「あいさつ」や「廊下を静かに歩く」、「トイレのスリッパや上靴をきちんと並べる」など、当たり前のことを当たり前にできる凡事徹底する力のことです。

朝から正門に立っていると、どんな時も立ち止まって、帽子を取って目を見てあいさつをする 6年生がいます。登校に遅れてあわてて走ってきた時も、けがをした足を引きずってきた時も…。朝のひとときですが、その姿勢に元気と勇気をもらうとともに、継続できる力に成長やたくましさを感じています。